

公明党 緊急政策要望懇談会

「トラック運送業界からの最重点要望事項」

令和4年4月6日



燃料価格高騰対策

国民生活と経済のライフラインとしての機能を果たすトラック運送業界において、燃料価格の負担が軽減されるよう、以下の措置を講じられたい。

1. 中小事業者に対する価格転嫁対策の更なる強化
2. 燃料価格高騰に対する支援の拡充等の実施
3. エネルギー価格低廉化方策の実施

価格転嫁に向けては、政府における「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」の厳格な運用と荷主等による違反行為をトラック運送事業者が躊躇なく通報しやすい体制の構築をお願いしたい。

燃料価格高騰対策

荷主業界紙16紙 新聞広告(令和4年4月)

荷主・元請
事業者の皆様

不当な運賃・料金の据え置きは コンプライアンス違反の可能性があります

燃料費等輸送コスト上昇分の運賃転嫁に対し、
協議なく不当に据え置く

買ったたき

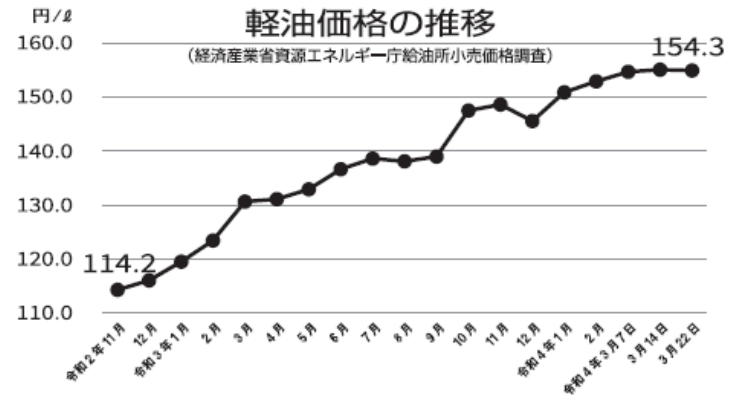
独占禁止法や
下請代金法違反となる
おそれがあります

貨物自動車運送事業法による
荷主・元請事業者等への
働きかけの対象となります

 公益社団法人
全日本トラック協会
燃料価格高騰対策本部

都道府県トラック協会

 国土交通省



政府は「パートナーシップによる価値創造のための転嫁円滑化施策パッケージ」を策定し
価格転嫁対策に全力で取り組んでいます

物流基盤の整備

平常時・災害時を問わず安定的な輸送を確保する等、トラック運送事業者がより道路を活用できるよう、以下の施策を講じられたい。

1. 高速道路ネットワークの整備・充実

- ① 「重要物流道路」の指定、指定道路への集中投資
- ② 暫定2車線区間の4車線化
- ③ ミッシングリンクの解消
- ④ 渋滞対策の推進 等

2. 休憩・休息施設、中継物流拠点の整備・拡充

- ① 高速道路のSA・PA、道の駅における駐車スペースの整備・拡充
- ② シャワー施設等、休憩・休息施設の充実
- ③ 中継物流拠点の全国展開による中継輸送の推進

高速道路料金等の引下げ

トラック輸送にとって、高速道路の利用は、ドライバーの拘束時間短縮等働き方改革の実現、輸送時間の短縮及び定時制の確保等生産性の向上の実現に不可欠のものであり、国民生活と経済のライフラインとしての機能を果たす営業用トラックについて、以下の措置を講じられたい。

1. 大口・多頻度割引を実質50%割引に拡充
2. 労働環境改善および交通流動最適化を図る料金制度
 - ① 長距離逓減割引の拡充
 - ② 深夜割引の拡充（ 現在：0時～4時 → 要望：22時～5時 ）
3. 首都高速等における割引制度の拡充
4. 本四高速における割引制度の拡充

働き方改革実現のための支援

改正貨物自動車運送事業法の更なる推進

1. 標準的な運賃の普及・浸透に向けた支援

「標準的な運賃」については、国土交通省と連携して普及促進を図っており、会員事業者の約6割が届出を行っているが、原油価格高騰並びにコロナ禍の状況において、荷主企業から理解をいただけない状況である。今後とも、標準的な運賃の普及・浸透に向けて、荷主団体や荷主企業に対して、更なる働きかけを行っていただくなど、強力なご支援をお願いしたい。

2. 荷主対策の深度化

荷主や配送先の都合による長時間の荷待ちや、ドライバーが労働時間のルールを遵守できないような運送の依頼等の根絶に向けて、違反原因行為の疑いがある荷主企業に対しては積極的に働きかけを行っていただくなど、強力なご支援をお願いしたい。

労働生産性の向上に対する支援

農産品輸送など手荷役が伴う輸送に係るパレット規格や外装の標準化、パレットの回収等運用ルールの確立等パレット化の推進及び荷役作業の効率化に資するテールゲートリフターやトラック搭載型クレーン等生産性向上に資する機器・システムの導入に対する支援をお願いしたい。

カーボンニュートラル実現に向けたトラック業界の要望

温室効果ガス排出を2050年までにゼロにするという目標については賛成である。電気トラック等の次世代自動車の市場への普及が図れば、積極的に導入を推進し、業界として運輸部門の排出量低減につとめてまいりたい。

次世代自動車普及のために必要なことは…

- ・車両の価格の低減(技術開発を含む)
- ・積載量、航続距離等の確保
- ・充電施設等の整備やメンテナンスの容易さ等車両としての使いやすさ



そのための政府への要望は…

- ・車両導入、スタンド整備に対する補助・助成制度や優遇税制の拡充
- ・燃料充填(充電)スタンドの広範な設置と燃料(電気)料金の低減
- ・円滑な普及に向けたインセンティブの拡充(税制、道路利用料等)等総合的な対策